第２５回白友会総会御挨拶（H26.10.18）

会長　森田静治

暫くでした。　１年間のご無沙汰ですね。
その間、皆様にはお変わりなくご健勝のこととお喜びを申し上げます。
今回は又、皆様にはご多忙の処、万障繰り合わせてのご出席を戴き深謝申し上げます。
誠に有難く、厚く御礼を申し上げます。
では早速本題に入ります。
私が会長に就任致しましてから、３年を経たせて戴きました。早いものでアッと云う間の３カ年でした。
第１年目は、岐阜大会でした。高山の杉浦支部長を中心とした役員間のご協力による厚い想いの籠る大会となりました。何よりも高山の朝市と、世界遺産の白川郷合掌造りの観光は此の会の圧巻で有り、高山の世界に跨る１代名行事でも有りました。
杉浦支部長と役員、関係者の皆様に心から感激して居ります。
２年目は東京大会でした。大学のお茶の水記念館にて開催されました。大学の記念館を借用しての総会でした。予算の関係もありまして、格安の料金にて故郷に帰り、懐かしく、時間をオーバーしてゆっくりと会談させて戴きました。
前日から浅草ビューホテルに連泊し、スカイツリーの見学と　前夜祭を兼ねた居酒屋「土間土間」での会食。当日の総会、そして翌日隅田川下りと、東京を満喫して散会いたしましたが、東京大会での川野辺委員長の細心の配慮と計画、そして堀口、盛さん等による委員たちの絶大な協力には、唯唯頭の下がる思いで一杯になりました。
東京での成功は川野辺さんと役員一同がっしりと手を汲む姿勢がすべてでありました。感激です。
さて今年度は大阪大会です。梅谷委員長の人柄と、行動力には定評が有り、間違いなく成功裡に終わる事確信して居ります。
特に京都の牧村顧問が最後のご恩返しとして京都「おいらん」を特別にご提供して戴く事になっております。８０歳にて社長御退任を機会の御印としての御奉納だそうで、大変感謝を致して居ります。きっと大阪大会も立派な総会で終わると確信して居ります。牧村顧問に絶大な拍手をお願い申し上げます。
この様に３年間を通じ、いずれの会も尊色なく出席会員に満足戴けたと思って居り、会を成功させた責任を無事に果たせたとして、一応会長の責任を果たす事が出来たと思って居ります。本当に皆様方のご支援の賜物と深く感謝して居ります。有難う御座いました。
然しながら一方において３カ年の間に主催者として、どなたの指名の招待者を招へいする事が出来なかった事があります。誠に残念乍此の事は過去に当時の永井中大総長がご夫妻で富山大会に出席された唯１回のみであります。当時の会長は牧村会長でした。

私も現総長に京都総会に出席願いたく申し入れましたが、当１０月１８日午前中は箱根駅伝の予選会が有り、午後には４か所の出席予定が重なっているので欠席する旨の連絡が有り、残念乍長年の夢は果たせませんでした。本当に残念でした。
此の事以外特に目立った行動も無く通常の総会業務には合格点を戴けてもその他会の進展、充実には何の役にも立つ事が出来ずに本日終了の日を迎えた事になります。
之からの役員に就いて一言申し述べたい事が有ります。年々若返る大学関係者に並び、当白友会の役員も、漸次若返る手段を講じ、年齢の若返りを図る事に就きると思います。
それから大学関係者を招待する企画とその実現に努力を惜しまない事。
大学に対して業務関係に積極的に参加する事。
それにも増して大学と、当白友会が同一の団体である事を繰り返し確認する事。
そして白友会も積極的に協力を惜しまない事。
などを提案して私の最後のご挨拶と致します。
長い間本当に有難う御座いました。

以　上